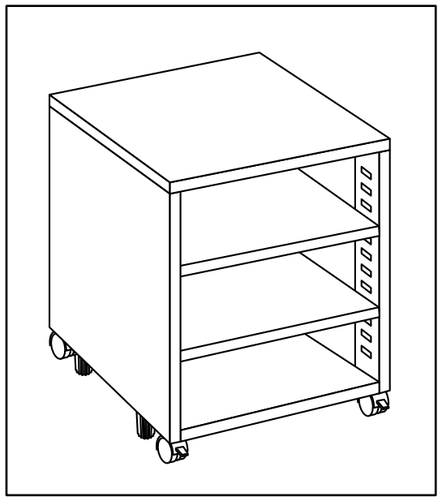
ELECOM

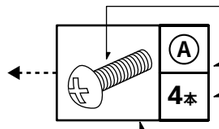
CPUボックス
取扱い及び組立説明書

CPU-30F

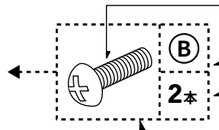
この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。本製品を組み立てる前に、必ず「組立使用上の注意」をご覧いただき、正しく組立、ご使用されますようお願い致します。



組立図使用マーク一覧



Aのボルトを 合計4本 固定します。



Bのボルトを 合計2本 仮止めします。

付属工具を使っての組立があります。

2人以上で作業を行ってください。

左右共通の部材を使用します。

L R

右用と左用とで部材の形状が異なります。組立ての際に取付け間違いのないようご注意下さい。

組立・使用上の注意

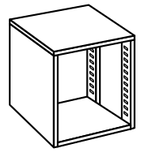
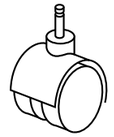
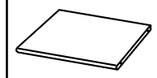
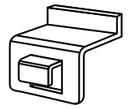
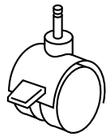
注意マーク…… この表示の欄は「軽傷を負う又は、物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。取扱いには十分ご注意下さい。

警告マーク……この表示の欄は「死亡又は、重傷などを負う可能性が想定される」内容です。取扱いには十分ご注意下さい。

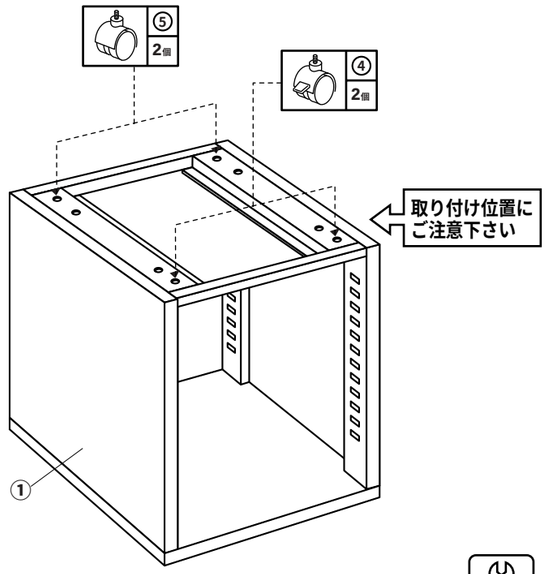
- 必ず軍手や手袋などで手を保護してから組立を行って下さい。
- 組立の際は手や指を挟まないように注意し、ストーブやコンロなど火気のある場所での組立は絶対に避けて下さい。
- 組立手順に従って指定された位置のボルトは確実に止め、組み立てて下さい。※ネジが緩いと危険です。
- 組立時は床などを傷つけないよう十分ご注意下さい。
- テーブルや棚の上に立つと危険です。 絶対に上に乗らないで下さい。
- ストーブやコンロなど、火気のある場所ではそれらの器具から十分に離れた場所でお使い下さい。
- 必ず屋内で使用し、水のかかる場所や直射日光のあたる場所での使用は避けて下さい。
- 使用中に組み付けたボルトが緩んできた場合は再度、組立手順にもとづき、増締めを行って下さい。（その際、天板・棚板等に載せているすべての機器を取り外して行って下さい。）
- ベンジン・酸・熱湯・シンナー・ミガキ粉・石油などでのお手入れは避けて下さい。必ず堅く絞ったぞうきんなどで、拭くなどして下さい。
- コンセント付きのものは容量を超えて使用しないで下さい。感電や火災の原因となります。

部品一覧表

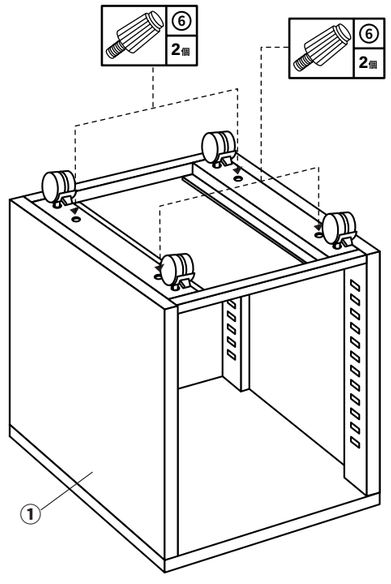
※組み立てを行う前に、以下の部材がすべて揃っているかご確認下さい。

品番	部材外観	品名 数量	品番	部材外観	品名 数量
①		CPUボックス本体 1個	⑤		キャスター(ストッパー無) 2個
②		棚板 2枚	⑥		アジャスター 4個
③		棚受金具 8個	付属工具		スパナ(キャスター用) 1個
④		キャスター(ストッパー有) 2個			

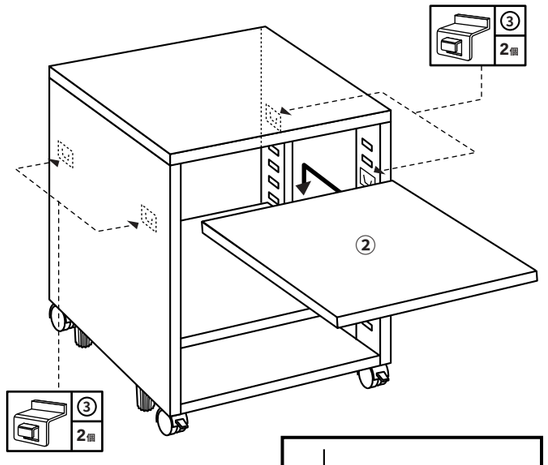
1 CPUボックス本体①を裏返し、キャスター（ストッパー付）④を前に、キャスター（ストッパー無）⑤を後ろに付属工具のスパナで取り付けます。



2 アジャスター⑥を取り付けます。



3 棚受金具③を使用し棚板2枚を取り付けて組立完成です。



CPUボックスを定位置で使用する場合は、4個のアジャスターを完全に床面と接地するまで回し（ゆるめ）て下さい。

エレコム株式会社

この説明書は必ず保管しておいて下さい。又、本製品を譲渡される際には、この説明書も一緒に譲渡して下さい。

MADE IN JAPAN 0306